New Wave

Vol.61

ジェンダー平等実現のための広報紙

【特集】

ジェンダーの視点から考える これからの防災

「非常用持ち出し品」
「非常用備蓄品」チェックリスト付き

ジェンダー平等や多様な性について知りたい、
気になる…そんな時は
「デュオよこすか」をご利用ください

特集

ジェンダーの視点から考えるこれからの防災

令和６年1月1日に発生した能登半島地震での甚大な被害は記憶に新しいです。近年は地震だけではなく、台風や大雨による被害も多くなっています。災害に強い地域をつくるためには、ジェンダーの視点に立った取り組みが必要です。

実際、地域の防災活動ではどんな課題がある??

＼ 地域の防災活動を行う女性たちの声 ／

「組織のトップは男性しかできない」と言われた…
女性はリーダーになれないの?

防災活動が、男性中心で行われている…
女性も防災活動の主体的な担い手であることをみんなに理解してもらいたい

防災組織に女性が入ることになっているけれど、実際は
‘女性はお手伝い’

家庭や仕事と、地域の防災活動との両立が大変…
少ない人数でたくさんの仕事をしなければならないの?

実際の避難所でも、こんな困ったことが…

＼ 東日本大震災や能登半島地震での実際の声 ／

ミルクやおむつなどの乳幼児用品や、生理用品などの女性用品が足りなかった

授乳室や着替えをする場所や洗濯物を干す場所がなく、プライバシーが確保されていなかった

生理用品や下着などの支援物資を男性が配布していると受け取りづらい

一部の男性に責任が集中したり、女性が炊き出しや掃除を行うなど、役割分担が偏っていた

こどもが自由に遊べるスペースがなく、ストレスや体調が心配

参考・引用
・災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～（令和2年5月　内閣府男女共同参画局）
・女性が力を発揮するこれからの地域防災～ノウハウ・活用事例集～（令和4年3月　内閣府男女共同参画局）
・男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針（平成25年5月　内閣府男女共同参画局）
・災害時における女性のニーズ調査～なぜ防災・災害復興に女性の視点が必要か～（特定非営利活動法人イコールネット仙台　宗片恵美子）

男性だけの組織だと、女性のニーズは反映されにくく、男性の意見に偏りがち

災害などの非常時には「男性はリーダー、女性は補助」という普段からの無意識の思い込みから、男性中心の意思決定が行われがちです。男性だけの組織では、女性のニーズが反映されにくく、意見が偏ることがあります。
だからこそ、日常から役割を性別で固定化せず、「ジェンダーの視点」を意識することが重要です。

自主防災活動とは?

地域住民が協力して、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的とし、結成される自主防災組織による防災活動。

これからの自主防災活動

＼ どうすれば女性の意見も反映できる? ／

内閣府が作成した「ノウハウ・活用事例集」の中の一例です

point! 01

意思決定を男女両方が担いましょう

たとえば…
- 副会長を男女１名ずつにするなど、組織のルールを決めましょう

point! 02

生活スタイルに合わせて関わり方を選べる組織にしましょう

たとえば…
- 部長や副部長を２人制にするなど、一人当たりの負担を減らしましょう
- １回あたりの活動時間を短くしましょう

point! 03

地域の防災活動に関心を持ちましょう

たとえば…
- お祭りにあわせたイベントを実施するなど、こども会やPTAと連携し、防災訓練を行いましょう

横須賀市ではまちづくり出前トークを実施しています。

横須賀市では、市民の皆さまのもとへ職員が直接伺い、説明や意見交換を行うまちづくり出前トークを実施しています。
「防災対策」や「自主防災組織」、「避難所運営」のメニューもありますので、ぜひご活用ください。

これからの避難所運営

＼ みんなが安心して過ごせる避難所に ／

運　営

- 男女両方の運営責任者を配置し、役割分担はどちらかに偏るのではなく、男女両方で。
- 「復旧作業などの力仕事は男性、炊き出しは女性」など、性別で役割を固定化しないようにしましょう。

物　資

- 女性用品や介護用品、乳幼児用品を充実させたり、その他にも多様なニーズ（外国籍の方、障害のある方、LGBTQ+の方など）に対応できるような配慮が必要です。
- 備蓄品や防災器材選びは、様々な人の視点を反映しましょう。

＼ 一人ひとりの意識が変えていく ／

地域全体の防災力を高めるためには、多様な視点が不可欠です。
男性だけでなく女性も参加することで、より多様な意見が反映されるようになります。
様々な人が参加する「ジェンダー視点の防災」によって
真に災害に強い地域をつくっていきましょう!

5 ジェンダー平等を実現しよう

男女共同参画及び多様な性を尊重する社会の推進施設

総合福祉会館5階

「デュオよこすか」をご利用ください！

「**デュオよこすか**」は、男女共同参画と多様な性を尊重する社会を推進するための場所です。
ここでは、ジェンダー平等や多様な性に関する様々な情報やサービスを提供し、誰もが安心して過ごせる環境を整えています。

デュオルーム

◆情報提供

・ジェンダー平等や多様な性について、わかりやすくまとめたパンフレットやイベントのチラシを無料でお配りしています。国や他都市の資料も閲覧できます。
・必要な情報を手軽に持ち帰って、ご自宅でじっくり読んでいただけます。

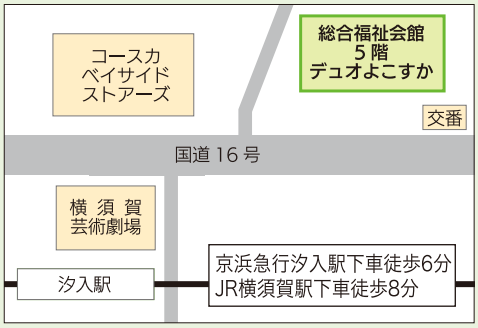
◆図書の閲覧・貸出

・ジェンダー平等や多様な性に関する図書のほか、人間関係や働き方、心と体に関するもの、自分らしい生き方を考え、決めるためのヒントになる図書等、約1,400冊を取りそろえています。
・1人につき3冊まで、2週間借りられます。
・その場で読むことも、ご自宅に持ち帰って読むこともできます。

◆ミーティングスペースの貸出

・情報交換や交流の場として利用できます。
・簡単な手続きで予約ができますので、お気軽にご利用ください。

デュオルームの詳細は→



登録団体募集中！

団体・グループ（3人以上）で登録をすると、ミーティングスペースの予約や貸しロッカー（希望多数の場合は抽選）が利用できます。
団体登録やデュオルームの詳細は、ホームページをご覧ください。

所　在　地：横須賀市本町2－1　総合福祉会館5階
電　　話：046-822-0804
開館時間：9時～18時（年末年始、臨時休館日を除く）

デュオルームは、多様性を尊重し、誰もが自分らしく過ごせる社会を目指すための場所です。ぜひ一度お立ち寄りください。スタッフ一同、お待ちしております！

女性のための相談室（一般相談・法律相談）

◆女性が日頃から抱える人間関係や生活上の悩み、法律上の悩みについての相談を女性相談員がお受けしています。相談窓口には「一般相談」と「法律相談」があります。

電　　話：046-828-8177

一般相談：月・水・金　9時～16時（年末年始、臨時休館日を除く）
女性が抱える人間関係や生活上の悩みについて、相談に応じます。
（1件あたり30分まで）

法律相談：原則第3火曜日　13時30分～16時30分
女性が抱える法律上の悩みについて、相談に応じます。
（予約制・女性弁護士対応、1件あたり40分まで）

女性のための相談室の詳細は↓

変化を力に進むまち。
横須賀市 Yokosuka City

編集・発行　横須賀市　市長室　人権・ダイバーシティ推進課
〒238-8550　横須賀市小川町11番地
電話　046-822-8228
e-mail　we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

リサイクル適性Ⓐ　◎この広報紙は12,000部発行し、1部あたりの印刷経費は15.80円です。
◎この広報紙は、印刷用の紙へリサイクルできます。

エコライフ ◀ 意識すれば、必ず変わる ▶ ジェンダー平等

非常用持ち出し品
チェックリスト

避難するときに持っていくもの

- 避難時に最初の1日をしのぐために必要なものを備えましょう
- 避難のときに両手が使えるように、リュックサックなどにまとめましょう
- 目につきやすく、すぐに持ち出せる場所に保管しましょう

- ☐ 貴重品（現金、通帳、身分証明書など）
  ※公衆電話を使うこともあります。小銭も用意しておきましょう。
- ☐ 飲料水（携帯用飲料水）
- ☐ 非常食（乾パン、アルファ化米、缶詰など）
- ☐ 持病薬、応急医薬品　（絆創膏、きず薬、鎮痛剤、解熱剤など）、お薬手帳
- ☐ 衣類（下着、上着、履物、タオルなど）
- ☐ 生活用品（ビニール袋、軍手、予備電池、ライターなど）
- ☐ 懐中電灯、ラジオ
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 予備のメガネやコンタクト
- ☐ **<赤ちゃんがいるご家庭>**
  おむつ、ミルク（液体ミルク含む）、
  おしりふきなどのこども用品
- ☐ **<高齢者がいるご家庭>**
  おかゆなどの食べやすい食品、
  補聴器、入れ歯など

女性におすすめ 避難時グッズ

たとえば…

- 生理用品、サニタリー用の中身が見えない袋
  （サニタリーボックスがないことも…）
- おりものシート
  （下着が洗濯できないこともあります。
  デリケートゾーンは清潔に保ちましょう。）
- マスク（ノーメイクでも心強い！）
- ヘアゴム、ヘアクリップ
- ボディーシート、ドライシャンプー、シートタイプのメイク落とし（水が使えなくてもOK）
- オールインワンジェル
- ハンドクリーム、リップクリーム
- ホイッスル、防犯ブザー
  （救助、防犯など緊急時のSOSに）
- カップ付キャミソールやタンクトップ
  （干すときに下着と分かりづらい）

など

年に1度は家族全員で、避難時用のリュックの中身や置いてある場所を確認しておきましょう！

非常用備蓄品
チェックリスト

家庭で普段から備えておくもの

- 自宅などで避難生活を送る際に必要な物品を備えましょう
- 備蓄の目安は、１週間分以上を自足するための量を備えましょう
- 持ち出すには重いもの、すぐには必要とならないものを自宅に保管しましょう

- ☐ 非常食品（レトルト食品、ドライフーズ、ゼリー飲料やバランス栄養食などの栄養補助食品、お菓子類など）
- ☐ 飲料水・生活用水（１人１日３リットル×１週間分以上を用意しましょう）
- ☐ 生活用品（食品ラップ、ビニールシート、トイレットペーパーなど）
- ☐ 給水用品（ポリタンクなどのポリ容器、バケツなど）
- ☐ 簡易トイレ（家族人数分×１日５～７回×１週間分以上を用意しましょう）
- ☐ 卓上コンロ・カセットボンベ
- ☐ 生理用品（ナプキン、おりものシートなど）
- ☐ おむつ、ミルク（液体ミルク含む）、おしりふきなどのこども用品

外出時には、ご自身の必需品をポーチにまとめて持ち歩きましょう

たとえば…

- 生理用品
- モバイルバッテリー
- マスク
- 常備薬やサプリ
- 予備のメガネやコンタクト
- ウェットティッシュ
- ハンドクリーム
- 化粧水やオールインワンジェル
- 歯ブラシセット
- メモと筆記用具
- 小型の懐中電灯
- 絆創膏　など

女性用品や乳幼児用品、衛生用品等は、
ローリングストック※で、
１週間分以上を備えておきましょう

※ローリングストックとは、普段から少し多めに買い、消費した分だけ買い足すことで一定量を無理なく備蓄する方法